

男性の薄毛治療



薄毛は病院に相談する時代

今、やるから意味がある

AGA(男性型脱毛症)とは

AGA(男性型脱毛症)とは、特に20代以降の男性に多く見られ、生え際や頭頂部の毛髪が薄くなったりするのが特徴です。

AGAは一度症状が出始めると自然に治癒することはありません。

治療せずに放置する時間が経過するほど薬の効果も少なくなってしまう可能性やさらに脱毛が進行する可能性があります。

髪が抜けて薄くなってきたと感じた場合、放置せずに早めに医療機関へ受診することをオススメします。

AGAの原因とは

AGAは『DHT（ジヒドロテストステロン）』の発生から起こります。それが『男性ホルモンレセプター』という受容器に取り込まれることで『TGF- β 』という、脱毛の原因となる因子が生まれてしまいます。

それにより、髪を毛を生やそうとするのではなく、逆に髪を退行させるように働きかけてしまうのです。

それを繰り返すことにより、毛周期が乱れてしまい抜け毛が増えて毛量が減少してしまう状態になります。

AGAのイメージ



AGAの治療薬

当院では、AGAに対して内服での治療を行っています。お薬を内服することにより、薄毛の進行を抑制するための予防薬の役割を果たします。

また、体の内側からAGAの進行を阻止することによって、毛髪が発毛しやすい環境に体を調整し、毛根に発毛を働きかける治療です。

✔ AGA内服薬は市販での購入はできません。
クリニックで医師による診断と処方が必要です



デュタステリド(ザガーロ)

デュタステリドはザガーロのジェネリック医薬品です。治療に用いられるのはほとんどデュタステリドです。とくに人気の理由としては、ジェネリック医薬品のため他の薬品に比べて安価に利用ができます。長期に内服するお薬のため、費用は大きなポイントです。そして、成分としての違いはありませんので、価格が安く購入できるデュタステリドは長期に内服しても費用が抑えられるため、おすすめのお薬です。



AGA治療の注意

AGA治療薬は長期にわたって内服し続ける治療薬ですので、肝臓に負担をかける可能性や副作用として、勃起機能不全・肝機能障害などが報告されています。

そして内服により、前立腺癌の発見を遅らせる可能性があるため、内服前にPSA(前立腺腫瘍マーカー)のチェックをする採血を推奨しています。

また、もともとの健康状態により内服できない場合もあるためAGA内服開始前後に血液検査のチェックを行うことをおすすめしています。(当院で採血可:自費)

AGA治療薬に限りませんが、薬は体質によって合う合わない、効果がないと感じることがあります。効果や副作用に対して、医師がチェックし安全に治療に臨める体制が必要です。そのためにも、1人で悩まずに、ぜひご相談下さい。



AGAは早く治療を行えば改善できる可能性が高いですが、完全に毛根が死滅した場合には治療の難易度は非常に高くなります！！！！

まずは【美容カウンセリング枠】でご予約し、お気軽にご相談ください。